

科目名称	医療安全	学年学期	単位数	時間数
		2学年後期	1	15
担当教員	村上 裕紀	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

安全な看護実践を提供するために、医療事故の危険を予測し回避する方法を理解する。

【2】 学習目標

1. 医療安全を学ぶ意味とその重要性について説明できる。
2. 医療安全に関する基本的用語を説明できる。
3. 医療事故に伴う看護師の法的責任について説明できる。
4. 対象の日常生活に潜むリスクとその回避方法を考えられる。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	医療安全の意味と重要性	講義
2	医療事故の構造	講義
3	医療安全とコミュニケーション	講義・DVD
4	医療従事者の安全を脅かすリスクと対策	講義・演習
5	診療の補助の事故防止	講義・演習
6	療養上の世話の事故防止	講義・演習
7	組織的な安全管理体制への取り組み	講義・演習
8	筆記試験・まとめ	

【5】 評価方法

以下の方法で総合的に評価する。

- ① ペーパーテスト (80点)
- ② 演習および課題 (20点)

【6】 教科書

川村治子: 系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践(2) 医療安全(第5版) 医学書院 2025 (電子版)

【7】 参考書

授業内で提示する。

【8】 受講生へのメッセージ

看護師は、診療の補助、療養上の世話と、他の医療職よりもはるかに多様な業務を担当している。医療の進歩により診療の補助はますます高度化・複雑化しており、療養上の世話においても患者の高齢化で一層繊細な気遣いが求められている。安全な医療・看護の提供のために一緒に医療安全について学びましょう。